

第18回 第3分科会会議録(概要)		場 所	新宿区役所第2分庁舎 2 会議室
日 時	平成18年4月4日 午後6時30分～午後9時00分	記録者	【学生補助員】 宇野沢、羽場
		責任者	区事務局(黒澤)
会議出席者：43名 傍聴者0名 他分科会委員14名 (区民委員：28名 学識委員：2名 区職員：10名 コンサル：3名)			
配布資料 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 第3分科会(第18回)次第</li> <li>● 参考資料：第3分科会提言のまとめへ向けた全体構成(素案)</li> <li>● 第3分科会 提言のまとめ(素案)</li> <li>● 第3分科会の中間報告会のテーマ別構成への整理</li> <li>● 地区協議会と新宿区民会議との意見交換会 発言概要</li> </ul> 進行内容 <ol style="list-style-type: none"> <li>1 提言のまとめ                         <ul style="list-style-type: none"> <li>テーマ1 土地の記憶の再生と創造</li> </ul> </li> <li>2 その他                         <ul style="list-style-type: none"> <li>最終提言の全体会準備のためのワーキンググループメンバーの選出について</li> </ul> </li> </ol> 会議内容【発言者】：区民委員、：学識委員、：区職員、：コンサル ：(配布資料確認) (事務局職員紹介)			
1 提言のまとめ <p>：こんばんは。第3分科会の18回目になりました。今日からは第3分科会の方々にはすでにご案内していますが、今まで9つのグループに分かれて検討してまいりました。それを中間報告という形にまとめて、あるワンステップは終了しました。これからは他の分科会からのご提案も含めて第3分科会の提案と合わせて、さらにどのような形で最終提案をまとめていくべきかというステップに入ります。今日は3つの大きなグループに分かれていただきましたが、これから今日のテーマであります「土地の記憶の再生と創造」という非常に大きなテーマについて、30分くらい説明をさせていただきます。この内容に基づいて、すでに第3分科会の方々、かなり内容についてご存知だと思いますが、今まで9つに分かれていたものですから、どうしてもバラバラになっていました。それを区民会議・分科会に参加してこなかった方に対して、きちんと分かりやすい区民の提案をするために、まとめ直しています。中身を直しているというより、大項目それから中項目、ちょっと整理をしてみます。こういった整理が分かりやすいかどうか、あるいは今まで説明した内容が、これはちょっとニュアンスが違うというようなことをチェックしていただくことが今日の趣旨であります。それか</p>			

ら、このテーマに関係する他の分科会の方、あるいは個人的にご関心をお持ちの方々が、今日14名、すでにご連絡をいただいた方が来ていただきました。第1、第4、第5、ひょっとしたら他の分科会からおみえになっているかもしれませんが、今日来ていただいています。その方々は、特に自分の分科会の中でこれに近い議論をしてきたと思いますので、こういう第3分科会のまとめ方でよろしいかどうか、いややっぱりちょっとニュアンスが違うのではないかというようなことがございましたら、今日説明の後、3つのグループの中でそれぞれご意見・ご感想を言って頂いてそれを最終的に事務局の方でまとめるというスタイルをとりたいと思います。是非ご協力いただきたいと思います。繰り返しになりますが、これは前回の分科会に申し上げたことですが、この「第3分科会提言のまとめ(素案)」があります。これは大きくローマ数字で、 、 、 と書いてあります。これが第3分科会のグループリーダーの方々、9人いらっしゃいますが、9人の方々和我々事務局で議論をして、とりあえず4つの大項目、それから11の中項目という形で整理をさせていただきました。今日の議論は『土地の再生の記憶と創造』という大項目がこれでよろしいのか、中項目がこれでよろしいのかどうか、さらに中項目の中が小項目という形でこのあと説明がございます。細かいことが書いてあります。それがよろしいのかどうかということも議論していただくのが今日の目的になります。ローマ数字の 、 、 、 はこれからの第3分科会のテーマになってきます。ですから次回からの第3分科会は『くらしを守り、いのちを育てる』というテーマで同じように進めていきたいと思っています。 の『われらの新宿』を終えてもう一回 、 、 、 それぞれご提案・ご意見いただいたものをまとめ直して、もう一回この分科会をやりまして、最終報告の案を作るという格好になります。そういう全体構成になっておりますので、これから是非ご意見等出していただく時に、大項目の問題なのか、中項目の問題なのか、小項目の問題なのか、あるいは全くそういうのとは違うご提案なのかその辺ちょっと整理していただきながらご意見をいただくと、その後まとめる事務局あるいはグループリーダーもやり易くなりますので、是非ご協力いただきたいと思います。今日の趣旨についてはご理解いただけでしょうか。それでは30分程度コンサルの方にご説明いただきますが、その後1時間程度それぞれのグループで発表された内容について意見交換していただきたいと思います。そのときは大変申し訳ありませんが、これまでの9名のグループリーダーの方々が分かれて入っていただいているのではないかと思いますので、進行役を務めて頂けたらと思います。当然、コンサルあるいは我々、区役所の方も脇にいて、意味が分からないとか質問があればその場でお答えしたいと思います。そして1時間ぐらい各テーブルで議論していただいた内容をグループリーダーのどなたかが記録を取って頂きまして、こういう修正意見が出たあるいはここをこういうふうに修正するほうが良いということの後で7~8分でそれぞれの議論をご報告していただくと、他のグループでこんな議論がされたということも聞けますし、あるいは我々事務局もそれを復習

することが出来ますので、その発表をしていただき本日終了という形にしたいと思  
います。よろしいでしょうか。

(テーマ1 土地の記憶の再生と創造)

: 土地の記憶の再生と創造

将来像: 文化創造都市(3つ)

1-1 文化・歴史を都市の軸にする【文化・歴史】

(1) 現状と課題

- ・下町低地
- ・日本の文化・芸術の最先端
- ・地場産業

(2) 今後の取り組みの方向性

新宿の森づくり - 旧「藩邸」を新宿の森へ

7つの森を「新宿の森」と位置づける。さらに、7つの藩邸を加えた「新宿の森」づくりを検討する。

歴史文化拠点の整備 - 漱石山房の復活

地場産業と居住の共存するまちづくり

<このような状況に対して~、> 具体的な制度の検討

路地を活かしたまちづくり

具体的な手法を区民会議から検討する必要がある。

個性的な道を活かしたまちづくり

ガイドラインをどのようにつくるか。

歴史・文化の掘り起こしと発信

ソフト中心のものになる。

文化資源の保護と文化環境づくり

文化財の把握と保護

文化創造都市づくりのためのその他の活動

1-2 水とみどりの環【みどり・河川】

(1) 現状と課題

- ・失われた水面を取り戻す
- ・水質の改善

(2) 今後の取り組みの方向性

神田川、妙正寺川の整備と外濠の整備・再生

具体的な検討内容をあげる。

玉川上水の復活

緑の風のみちづくり

1-3 景観は区民共有の財産【景観・超高層】

(1) 現状と課題

- ・新宿は多様な要素と異なる景観をもった街が組み合わされている
- ・地域の個性をもっと生かせるようにする

(2) 今後の取り組みの方向性

持続可能な都市を目指した、地区の景観ルールづくり

景観形成のためのルールづくり

景観法の活用と地域と協働した景観施策の推進

住民が提案する景観計画

身近な街並みの改善や整備

中間報告の本文にはないが、重要なので追加。

歴史的建造物等の保全・活用

1-1に加えても良いものかもしれない。

再開発の歴史と伝統を生かしたまちづくり

超高層建築の計画とデザインなどに関するガイドラインづくり

<周辺からの景観に配慮した～> 加えた部分

：第5分科会ですが、第5分科会は今作業をしています。今日お招きいただきましたのは、こちらと重なっている部分が中間報告であるということでしたので、その部分のことについて申し上げるのかと思います、今日は参りました。重なっている部分について申し上げておいたほうが賢明かと思うのです。重なっている部分は、3ページをお開き頂きたいのですが、その前に、17年6月18日立上げの時の第1回全体会議の資料の中に、第5分科会は産業・文化・観光です。それで、こちらの分科会が、みどり・まちづくり・防災・景観です。それで私どもは産業についてやっています。そうしますと、ずばり重なっているところが3ページの「文化資源の保護と文化環境づくり」ですが、この中に 美術をはじめ、アニメやCGなどのコンテンツ産業やファッション産業、伝統産業などにおける～中略～として「アートミュージアム」のあり方を検討します とありますが、これずばり産業でやっているんです。これがないと産業は成立しないわけです。IT産業ですから。これはどこか上のほうで出せるとは思います、一応私どもの方でやっているということをお知らせしたほうが賢明かと思います。そのために参ったしだいです。それが見当違いだったらごめんなさい。それから1ページそれに関連しまして、将来像：文化創造都市 というところに 新宿の土地の歴史と人間の活躍、産業の活躍を基とした、持続可能な文化創造都市 これもいいのですが、私どももやっておりますのでどこかで調整していただく事になると思います。あとの部分はずばり重なっておりますのでそのところはご了承いただきたいと思います。宜しく願いいたします。

：ありがとうございます。全体の構成については第3分科会の提案について、この大きな3つです。ただ他の分科会からはまた別の大きな大項目や中項目が出され

ます。今週の金曜日に各分科会の世話人の方々と我々事務局が大項目をいくつにするか中項目をいくつにするか検討させていただきます。ですから今のご発言のあった第5分科会でも出てくると思いますので、それは必ずしもこの中ではなくても我々が受け止めるチャンネルを持っておりますので、それを補足させて頂きたいと思えます。今日はここに書いてある内容について少し議論していただきたいと思えます。ちょっと時間が押してしまいましたけれども、一時間それぞれのグループのなかでやりたいと思えます。これだけ大勢ですので、メモや付箋を使って書いていただいたほうがよろしいかと思えます。お願いで申し上げれば、皆さん書いていただいたものを整理し直ただけですので、不足しているなどの部分を付け足したり修正したりという形で、ぜひご議論していただきたいと思えます。宜しく願います。

(グループで討議)

#### グループ発表

：各テーブルで話された内容を紹介していただきたいと思えます。すべては紹介して頂くことはできないと思えますので、個人個人で今日の内容についてご意見、ご要望があるようでしたら付箋に書いていただいて貼って頂いて残してください。私どもがあとできちっと読ませて頂きます。文章に残っていないと中々、後で確認しづらいので、宜しく願います。一応どんな議論だったかというご報告を頂きたいと思えます。

：・1-2 水とみどりの環について

・第4分科会でのみどりについての議論と第3分科会の緑についての議論との整合性を高めて、緑についての考え方、提案を今後まとめるべきではないか。

・1-3 景観は区民の共有の資源

・第3分科会で分類分け上、景観と超高層をまとめたが、超高層は景観の中にも含まれているようものではない。

・2-3 に関連する話題もあるので後日また話し合いが必要である。

・テーマ別構成への整理で賑わいのところで大事な事が抜けているところがあったので、付け足してください。

・第4分科会の方からまちづくりの大きなテーマに関連して都市計画に関する土地の用途利用についての話が題材的であったのかという質問があった。

その辺りの問題は、地域の特性があるので地区協議会の方で相当な議論がされているので、そちらの方で活発に議論して欲しい。ただ、それを第3との整合性をもって取り上げるかが問題である。

・文章の末尾にあるような「研究します。」「検討します。」「検討が必要です。」

ではなく、10年、15年先に対して我々の希望として、「こうありたい。」「絶対このようにしてほしい。」という様な強調した言い方にしてほしい。

- ：・区民提案である以上は希望が通るような言葉が好ましく、あいまいな言葉は避けたい。中間発表の時とニュアンスが離れている。
- ・項目について、「文化・歴史を都市の軸にする」という表現がわからないという意見があった。
- ・1-3 景観・超高層の文章がわからない。
- ・文化の見方が狭すぎる。
- ・「土地の記憶の再生と創造」の創造という言葉に関する項目がないので -4として新たに項目を増やして「未来と創造(仮)」などして、整理した方がわかりやすいのではないだろうか。
- ・文化のもとと意味合いからずれているのではないか。
- ・カタカナ言葉が多くて区民提案とするにはわかりにくいのではないか。
- ・1-1(2) の路地を活かしたまちづくりで、路地という言葉を使うのではなく界限という言葉にした方が正しいのではないだろうか。言い方を界限に変えるべきではないだろうか。
- ・1-1(2) の地場産業の中で出版・印刷という話が出ているが、染色についての記述が少ない。地場産業と居住を同じ項目ではなく別にするべきではないだろうか。
- ・1-1(1)の現状の中の「下町低地」という言葉について、新宿は自然系山の手で低地ではあるが、そこに下町を付けるのは認識としておかしいのではないか。
- ・言葉の使い方についての意見が多い。
- ・1-1(2) 「新宿の“森”づくり」で、この表現だけだと何をするのかかわからない。もう少し詳しく何を指して、どうやって整備するかなどを表現した方がよいのではないだろうか。
- ・創造するというレベルでの文化の扱いの中に新しい部分のオペラシティなどの記述が抜けている。
- ・文章の中で「など」が多すぎる。文章で一続きに読むとわかりにくい。
- ：主に歴史と文化についての報告
  - ・新しい文化の創造と伝統文化の保存との折り合い、優先順位を付けるために未来社会ビジョンを明確にするべきではないか。
  - ・何の為に文化・歴史を保存するのかを明確にする必要がないか。
  - ・1-1(2) の新宿“森”づくりに関連して
    - ・避難場所の整備も言及してほしい。
    - ・大都会の森で子供の遊び場田舎遊びができるようにしてほしい。
    - ・四谷・新宿・七つの藩邸を加えた新宿の森の復元をして欲しい。
    - ・七つの藩邸の森の藩邸の復活は本当に可能なのか具体的に示して欲しい。
    - ・早稲田大学周辺となっているが甘泉園周辺の方が具体的ではないか。

- ・1-1(2) の歴史文化拠点の整備について
  - ・歴史文化拠点が漱石だけでなく大学なども入れてはどうか。
  - ・漱石だけに偏らず、島崎藤村の住居跡もあります。但し閑散としている。
  - ・拠点地区というのは 「個性的な道を生かしたまちづくり」と は一緒にして書いた方がいいのではないだろうか。
  - ・別々に記述するのではなく歴史地区と個性的な道、歴史の拠点とネットワークとして記述した方がわかりやすいのではないか。
- ・1-1(2) 地場産業について
  - ・創造型産業の育成の核として、「創造的な文化都市」という言葉は各地域で行われているので、先手を打って国際的イベントを考えるべきではないか。
  - ・地場産業を狭く定義しすぎではないか。
- ・1-1(2) 路地を活かしたまちづくりについて
  - ・路地と防災の両立に当たって何を検討するべきか。  
小さな路地の空間を残しながら、防災の観点からの矛盾をどう考えるかが大切。例えば、景観に配慮しつつ路地の中に消防施設を盛り込むなど初期消火の大切さについて言及するべきではないか。
  - ・安心安全の考慮を入れていくべきではないか。
- ・1-1(2) 個性的な道を活かしたまちづくり
  - ・身近な街並みの改善。乳母車で行けるような公園のある街並みが必要ではないか。
  - ・神田川に沿った花道と遊びの空間の確保が必要ではないか。
  - ・新宿区の史跡めぐりは歴史の散歩道でありベンチのあるデートコースでもありたい。
  - ・歴史の散歩道のコース設定は、一般の住宅地にあまり入り込まないコース設定を考えて欲しい。
- ・1-1(2) 歴史・文化の掘り起こしと発信
  - ・歴史環境のガイドプレートでよいかどうか。街毎で、どこにいるかどうかわかるようにパリのまちの街路名のプレートのように付けて欲しい。
  - ・町名の復活を是非やって欲しい。新宿、西新宿、東新宿ではあまりにも味気ない。
- ・1-1(2) 文化資源の保護と文化環境づくり
  - ・区役所の再整備は文化的には良いが、シンボル性を持たせる必要はないのではないか。
  - ・ と は一緒にして歴史・文化・芸術という風にまとめるべきではないか。
- ・システムについて
  - ・国際都市新宿として歴史・文化のPRを行うべきではないか。

- ・よりよいまちづくりに子供を産学させるシステムが必要ではないか。
- ・共生と循環の姿勢に基づいて優れた伝統文化を次世代に伝承するシステムが必要ではないか。

: 景観を中心に歴史・文化に関して

- ・総論として項目分けについて
  - ・漱石山房の復活に関しては一つの項目にするよりも にまとめてはどうか。
  - ・路地を活かしたまちづくりに関しては具体的な提言を含めて「期待されます」ではなく、景観の問題として地区の景観のルール作りという風な方法で報告した方がよいのではないか。
- ・全体的に  
「期待されます」「目指します」「研究します」などの言葉はやめるべきだ。  
具体的な提言をしていくべきではないか。
- ・その他
  - ・第1分科会の方とお話で、未来に作っていくという事で子供達に託するという事を入れるべきではないか。
  - ・1-2について美しいだけではなく、子供達が遊べる場所をつくるべきではないか。
  - ・1-3 景観について
    - ・具体的な提言として研究するという事ではなく、景観コンテストを行ったり、身近な街並みを作るにあたって住人に直接的な権限を移譲したり、歴史建造物の保存について民間活力の利用を検討するべきではないか。例えば、超高層の計画とデザインについて、「合意形成システムやガイドラインの導入などについて研究します。」ではなくて、合意形成システムを作って強制力のあるガイドラインを作るとい事をお願いするべきではないか。

: 抜けた部分の付け足し

- ・第4分科会の方からの質問で、リサイクルについて第3分科会の方ではやっているのかという事でしたが、それは第4分科会の方でしっかり議論して頂くようお願いします。

: どうもありがとうございました。時間が超過してしまいそうで誠に申し訳ありません。4つの柱で議論していこうと企画したのですが、中々他の分科会との調整が今日必ずしもうまくいかなかったという事ちょっと反省しています。次回以降また工夫をしたいと思います。今日頂いたものについては、ポストイットあるいはメモを残して頂ければ、もう一度全体でやりますので、その時までには反映させたいと思います。どうぞありがとうございました。



2 その他

最終提言の全体準備のためのワーキンググループメンバーの選出

鎌田さん、窪田さん、大西さんに決定

次回

日時：4月11日（火） 18:30～

場所：第1分庁舎 7F 研修室

閉 会